

ミモザ咲くゴツホの狂気乱反射

山田真砂年

南仏アルルの黄色い家でのゴツホとゴーギャンとの
共同生活はわずか二か月で披綻した。

異質の二人の生活はまさに乱反射の連続であつたと思
える。ゴツホは自らの耳を切り、精神病院へ入院し自殺
する。ゴーギャンはその翌年にタヒチに旅立つが、タヒ
チでゴツホを偲び「椅子の上のひまわり」の絵を描い
ている。上五に登場するミモザは、句にぴったりの花
で花言葉は「友情・感謝」であつた。

「稲」五月号